

2019年執行 統一地方選挙

統一地方選日程 県議選 3.29~4.7 市議選 4.14~4.21 町議選 4.16~4.21

国民民主党香川県連 公認・推薦候補者

 <p>県議選 (高松市) 公認・現2 山本 悟史 50 やまもと さとし</p>	 <p>県議選 (さぬき市) 公認・現1 木村 篤史 46 きむら あつし</p>	 <p>県議選 (東かがわ市) 推薦・新人 鏡原 慎一郎 33 かがみはら しんいちろう</p>
 <p>高松市議選 公認・現2 中西 俊介 42 なかにし しゅんすけ</p>	 <p>坂出市議選 公認・現1 植原 泰 60 うえはら ゆたか</p>	 <p>さぬき市議選 公認・現3 名倉 毅 77 なぐら たけし</p>
 <p>東かがわ市議選 推薦・現1 山口 大輔 43 やまぐち だいすけ</p>	 <p>さぬき市議選 公認・新人 中川 睦彦 49 なかがわ むつひこ</p>	 <p>三木町議選 公認・新人 友保 陽子 48 ともやす ようこ</p>

引き続き、県民・市民の声をしっかりと聞きし、地域に根ざした活動を続けてまいります!

候補者公募 **かがわ政経スクール** 受講生募集 詳しくは **国民民主党香川県連** [検索](#)

お問合せ **国民民主党 香川県総支部連合会** 〒761-8072 高松市三条町315-3 TEL(087)868-0028 FAX(087)868-0109

国民民主党代表
国民民主党香川県連代表
衆議院議員

玉木 雄一郎

ゆういちろう

ごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆様におかれましてもよき新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。さて、今年は5月1日に改元を迎えます。新しい御代が始まります。同日5月1日に私は50歳になります。そして、衆議院議員としても、2009年の初当選から10年目を迎えます。いろんな意味で、節目の年です。この年末年始、久しぶりに1週間ほど地元に戻り、同級生をはじめいろんな人と話をしたり、県内各地で街頭に立って思いを訴えました。そこで思ったのは、今一度「原点に帰ろう」ということです。初めて選挙で、私は、声の大きい業界や団体の声ばかり聞いて、声なき声に耳を傾けない政治を変えたいと訴えました。また、このままでは日本は世界から取り残される、古くなった仕組みを変えたいと、強い危機感を語りました。しかし、あれから10年が経ち、自分自身が、そんな忌み嫌っていた化石のような政治にどっぷり浸かっていることに気づきました。これではダメだ。ミイラ取りがミイラになっているのではないかと反省しました。特に、ここ数年、いろんなことを気にし過ぎて、刀のキレが鈍っていました。今年、政治家として10年目の節目を迎え、もう一度、日本を変えたいと、がむしゃらに刀を振っていたあの頃に戻りたいと思います。再び政権につく構想を練り直します。これまでの歩みが、政治家としての第1ステージだとしたら、第2ステージに進みます。真っ裸になって、自分自身のしがらみを脱ぎ捨て、日本が直面する問題に正面から向き合います。苦しくて、辛くて、声を上げることもできず、泣くことさえやめてしまった、そんな声に寄り添います。そして、壊れつつある議会制民主主義と平和を守るため、平気で嘘をつく政治に戦いを挑みます。私は、自分たちの愛する子や孫が生きる未来に、みすばらしい日本を残したくはありません。だから、目を皿にし、貪るように問題を見つけ、国民の声を聞きながら、一つ一つ解決につなげていきます。新しい時代に、新たなスタートを切ります。次の時代をつくるために。

玉木雄一郎

・通常号 定価1部100円(税込) ・年間購読料 2,000円(送料含む)

国民民主 こくみんしゅ
Press 号外
KOKUMIN MINSHU PRESS 2019年1月号
国民民主党 国民民主プレス 編集部 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話:03-3595-9988 (代電) メール:press@dpfp.or.jp URL:https://www.dpfp.or.jp

寒川事務所
〒769-2321 香川県さぬき市寒川町石田東甲814-1
TEL 0879-43-0280 FAX 0879-43-0281
坂出事務所
〒762-0032 香川県坂出市駒止町1-2-20 サンコート1階
TEL 0877-46-1805 FAX 0877-43-5595
国会事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第1議員会館706号室
TEL 03-3508-7213 FAX 03-3508-3213
pr@tamakin.jp http://www.tamakin.jp

玉木雄一郎(たまきゆういちろう)プロフィール

昭和44年、さぬき市生まれ。高松高校、東京大学法学部、米国ハーバード大学大学院卒業。平成21年、衆議院初当選、当選4回。平成30年9月、国民民主党代表に就任。

▼ 玉木が動けば 日本も変わる!

つくろう、新しい答え。



「人生100年時代」「AI(人工知能)の時代」など、国内外に大きな変化が起きている時代に、単なる否定や反対だけでなく、国民の声を集めて、日本が進むべき「新しい答え」を提案していきたい、そんな思いを込めました。昨年秋の臨時国会で国民民主党が動かした2つの例を紹介します。

新しい答え ① 風疹予防接種の無償化

風疹が大流行しています。そこで、国民民主党は党をあげて風疹対策に取り組むこととし、昨年10月末、社会的な関心を持ってもらえるよう、党本部で集団予防接種を実施しました。代表の私も率先して接種を受けました。その後、自民党の小泉進次郎厚生労働部会長もこの問題を取り上げるようになり、年末には厚生労働大臣が30代～50代男性の風疹の予防接種を無償化する方針を打ち出しました。大きな成果です。



新しい答え ② 妊婦加算の見直し

妊婦加算とは、診断や調薬の手間から妊婦さんだけに料金を上乗せする制度のことです。これに対し、わが党の大西健介衆議院議員や桜井充参議院議員が、少子化対策や子育て支援と言いながら、妊婦さんだけ負担を求めるのはおかしいのではないか、と何度も国会で問題提起をしました。その結果、これも昨年末に厚生労働大臣が妊婦加算の凍結を発表することにつながりました。



私たち国民民主党は、安倍政権のおかしな点は徹底的に追及し、野党として権力を厳しく監視します。同時に、社会の問題点をいち早く見つけ出し、具体的な解決策を示しながら実現を目指す党でもあります。国民のためになる政策の一つでも多く実現していきます。

新しい答え ③ ネット時代の教育

私が今、力を入れて取り組んでいるのが、インターネット時代の新しい教育です。不登校の子どもたちや、スポーツなど得意分野に集中的に時間をかけたい子どもたち、さらには、過疎地域に住んでいて最先端の教育が受けられない子どもたちに対する、最新のテクノロジーを使った教育を研究しています。昨年末には、インターネットをフル活用した授業を行なっている「N高等学校」を訪ねました。高校卒業に必要な単位は全てネットで履修する一方、起業やデザインなど豊富な課外授業がある、全く新しいスタイルの高校教育に衝撃を受けました。ちなみに、フィギュアスケートの紀平梨花さんも現役のN高生です。引き続き、教育分野の「新しい答え」を提案していきます。

詳しくは、YouTube「たまきチャンネル」をご覧ください。



▼ 玉木が動けば 香川も変わる!

地元案件も着実に進めています。



高松道の暫定4車線が完成(高松～津田東)

昨年9月に高松道の暫定4車線が完成し、対面通行が解消されました。民主党政権の初期に一時凍結されましたが、私も大臣に陳情するなどして、2010年4月には事業再開が決まりました。今年3月の全面4車線化に向けて、引き続き支援します。



野間池を災害に強いため池に(さぬき市)

2015年の災害で破損した野間池の井堰を、農業用河川工作物応急対応事業で改修し、洪水に強いため池になりました。香川県をはじめ、全国に数多くある老朽化したため池の災害対策に今後も力を入れます。

小さな命を守る 児童虐待防止

東京都目黒区で起きた結愛ちゃんの虐待死事件を受け、香川県西部子ども相談センターなどから現場の実態を伺いました。それを受け、児童福祉司の増員を柱とする児童虐待防止法の改正案を国会に提出しました。政府も増員に向けて動き出しました。



視察後の記者会見(2018年6月)



四国水族館ついに 来年3月オープン(宇多津町)

2020年3月の開業に向け、着々と準備が進んでいます。昨年10月から、本館の工事が始まりました。水族館を軸にした、子どもたちの笑顔あふれるまちづくりを応援します。



災害復旧に速やかに対応(綾川町・坂出市)

昨年7月の西日本豪雨では、綾川町滝宮地区の奥池が一部決壊しましたが、発生直後に被害状況を視察して対応しました。坂出市王越地区は土砂崩れで一時孤立化しましたが、県などへ働きかけた結果、応急措置が取られました。災害対策は与野党を超えて取り組みます。



丸亀城石垣の早期復旧(丸亀市)

台風24号の大雨で崩落した丸亀城の石垣について、補正予算を活用した早期復旧を文化庁に求めました。まずは測量や調査のための予算を確保し、市や県と連携して1日も早い復旧に向けて力を尽くします。

児童福祉司 来年度870人増
政府方針 児相の機能強化急ぐ

全国の児童相談所(児相)で約2割に達する児童虐待防止のための新プランで、児童虐待防止法を改正し、児童相談所の増員を柱とする児童虐待防止法の改正案を国会に提出しました。政府も増員に向けて動き出しました。

全国の児童相談所(児相)で約2割に達する児童虐待防止のための新プランで、児童虐待防止法を改正し、児童相談所の増員を柱とする児童虐待防止法の改正案を国会に提出しました。政府も増員に向けて動き出しました。